

# ■ 県民講座 2005

回		日時	テーマ	講師(敬称略)	内容	
第1回	人権全般	7月30日(土)	13:00～	開講式・リエンション		
			13:10～ 14:40	日本文化の深層を探る 「竹細工に生きる」～あすにつぐもの～	桃山学院大学名誉教授 沖浦 和光	日本人の日常生活に欠かせなかった竹製品。にも関わらず、それに携わった人びとには、差別されてきた歴史がある。しかし、日本の伝統的な技術であり文化である竹細工に、またそれを作る仕事に誇りを持ち、創造的に継承しようとしている竹細工師の皆さんに、先生ご自身が直接会って作成されたビデオ、「あすにつぐもの」を題材に、日本文化の深層について講演いただきます。
			14:50～ 16:20	日本文化の深層を探る 「先住民隼人と竹細工」	桃山学院大学名誉教授 沖浦 和光	これまでに全国の同和地区を数多く訪れ、伝承されてきた文化・民俗・産業技術を中心に被差別民衆の歴史を研究し、インドネシア諸島や南太平洋の島々に出向き、先住海洋民と交流することで、「アジアの中の日本」論という視点を構築された先生に、縄文時代の創世記以前に黒潮に乗って南九州にやってきたといわれる南方系海洋民「隼人」と竹細工の関わりを通して、日本文化の深層について講演いただきます。
第2回	同和問題	8月20日(土)	13:00～	リエンション		
			13:10～ 14:40	部落差別の歴史認識を深めよう	九州国際大学講師 白土 秀美	昨年度、当センターで制作したビデオ「ヒューマン博士と考えるよう～差別から人権の確立へ～」を使って、差別された人びとの歴史的背景や、つくられた偏見、そして現在も身近にある誤った認識等について、わかりやすく講演いただきます。
			14:50～ 16:20	「笑いで差別をふきとばせ」	博多仁和加振興会常任理事 松崎 真治	「自分で差別を作らない」「差別を見逃さない」「健全な常識」等々のサブテーマに沿い、身近に現存する「差別」について、軽妙でリズム感あふれるトークにより、たのしくわかりやすく講演いただきます。
第3回	外国人問題	9月24日(土)	13:00～	リエンション		
			13:10～ 14:40	外国とのつながりを知る、共感する、想像する	地球共育の会ふくおか代表 吉野 あかね	私たちの生活は、世界中の食べ物、資源、労働力なしには暮らせないようになっています。しかし、外国の人々を日常深く意識したり、身近に感じたりすることが少ないのも現実です。私たちと世界の意外なつながりの中に世界の不公正な現状が隠されています。私たちの関わりで公正な社会をどのように実現できるかを考えていきます。
			14:50～ 16:20	「玄海人として生きる」	玄海人クラブ代表 齋 華澄	内容調整中です。
第4回	高齢者問題	10月22日(土)	13:00～	リエンション		
			13:10～ 14:40	認知症高齢者のこころ	弁護士 岩城 和代	成年後見制度が始まって丸5年が経ちました。認知症の方々について、成年後見を利用する人も徐々に増えつつあります。支援者として成年後見人になったら、どんな気持ちでお年寄りに接したらよいのでしょうか。
			14:50～ 16:20	笑って健康大作戦!	伊藤医院院長 伊藤 実貴	早くから医療現場での「笑い」の必要性を説き、マジックを通してそれを実践されてきた伊藤先生。なぜ「笑い」なのか?その効用は?また、自ら代笑(理事長)を務めるNPO法人「博多笑い塾」や海外での様々な支援活動への思い。そして、最後は参加者全員を、Dr. マジックの「不思議」の世界へ。
第5回	障害者問題	11月19日(土)	13:00～	リエンション		
			13:10～ 14:40	障がい者を取り巻く社会環境について考える	福岡市障害者110番 常設相談室室長 大坪 光夫	障がい者の現状と社会的対応をハード・ソフト両面からとらえた地域での共生を育む。
			14:50～ 16:20	『打掌笑(だしょうしょう)手を打って笑う』	慈明院名誉住職 吉住 明海	健常者、障害者という区別も、年齢や男女の別なく、総て人間としての、幸福は、皆で笑う事から、始まるものです。笑うという行動は、人間にのみ与えられたものだから……。
第6回	子ども問題	12月17日(土)	13:00～	リエンション		
			13:10～ 14:40	いのちをつないで	むなかた助産院院長 賀久 はつ	人間にとって最も大切なものは教育であり、真の教育は種の保存です。健康で豊かな社会が続いていくためには、いのちを無条件に受容し、尊厳を守ることからはじまります。
			14:50～ 16:20	『子育て 親育ち 地域づくり』	子づれ DE CHA・CHA・CH 編集長 濱砂 圭子さん	12年前「子づれ DE CHA・CHA・CHA!」を主婦サークルで創刊しなければならなかった事情。そこから見えてくる子育て環境の変わった点、変わらなかった点。その要因は、どこに!?親とそれを取り巻く環境や意識の問題を提議します。
第7回	人権全般・まとめ	1月28日(土)	13:00～	リエンション		
			13:10～ 14:40	「笑って楽しく考える～落語に見る人権～」	宗像落語会 粗忽家 酔書	日本の伝統話芸「落語」には、江戸の庶民の姿がいきいきと描かれています。その落語を通して、楽しく人権を考えてみましょう。
			14:50～ 16:20	心のバリアフリーをめざし～人権の取材・啓発活動を通して見えたもの～	福岡県人権研究所理事 西尾 紀臣	昔話は、人権に対する意識の奥底を代弁してくれます。この講座では、昔話を通して、暮らしの中の人権問題を考え、「気づく」きっかけとします。
			16:20～	閉講式		